

KENCHIKU SHIZUOKA

Public relations  
magazine

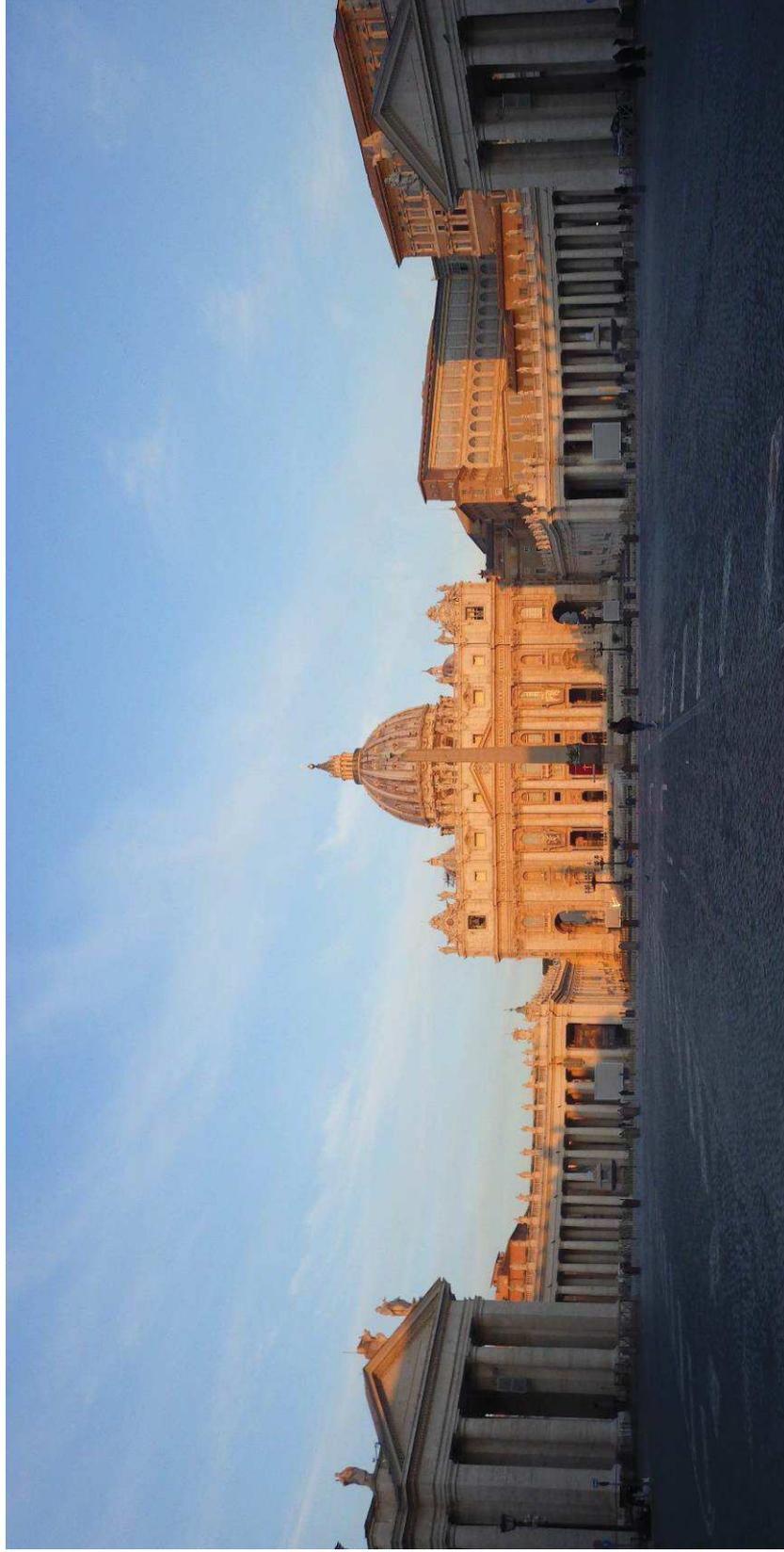
昭和33年12月25日第3種郵便物認可  
令和元年7月1日発行 1,47,10月1日発行  
KENCHIKU SHIZUOKA

# 建築静岡

Kenchiku Shizuoka

夏号 2019 Summer No.669

特集 ■ イタリア縦断の旅 世界遺産めぐり



公益社団法人静岡県建築士会

Shizuoka Association of Architects & Building Engineers

<http://www.shizu-shikai.com>

# ■ イタリア縦断—世界遺産の旅— Prologue

## イタリア縦断の旅

世界中の文化財の40%があるといわれ、世界で最も多くの世界遺産を持つ国イタリア。先日8泊10日でイタリア縦断の旅に行ってきました。そのイタリアにある数々の人類の遺産を紹介していきます。

**本編はP10から！！**



### 1 段目

アマルフィの街

### 2 段目

左：青の洞窟  
中：ライトアップされたトゥルツリ  
右：アルベロベッロの夜景



### 3 段目

左：ピサ大聖堂  
右：斜塔からの眺め

### 4 段目

左：ミラノの  
スフォルツェ  
スコ城  
右：アマルフィ  
の街



## イタリアグルメ情報

今回一番思い出に残った美味しい食べ物はフィレンツェのドウオモのそば“ジェラテリア エドアルド”のジェラートです。



保存容器に蓋がされている為、見た目には派手さはないですが、それぞれのフレーバーにあった温度管理が完璧にされており、

やわらかさと味わいで今までのジェラートのイメージが一新されました。特に赤ワインのキャンティのジェラートは美味しかった、手焼きのコーンもおすすめです。



住所：PIAZZA DEL DUOMO 45/R 50122

FLORENCE

## Contents

### ■表紙裏 イタリア縦断の旅 —プロローグ—

#### 1 目次

### ■総会挨拶

- 2 会長挨拶 (公社) 静岡県建築士会会長 飯尾清三  
来賓祝辞 静岡県議会議長 鈴木利幸

### ■令和元年度定時総会

#### 4 総会議事録

### ■シリーズ

#### 6 ハイブリッド社会に生きる

住宅資産研究所 倉田剛

### ■連載

#### 7 しずおか木造塾 第5回講座

しずおか木造塾委員会 鈴木浩一郎、石上鎮夫

### ■コラム

- 8 コーヒーブレイク “無責任” “西部ブロック”  
“中部のサラリーマン建築士” “中部ブロック”

### ■連載

#### 9 景観整備機構【瓦版】 第87号

景観整備機構・まちづくり委員会委員長 木村精治

### ■特集

#### 10 イタリア縦断の旅 —世界遺産めぐり—

広報情報委員会 山口知己

### ■お知らせ、編集後記

- 16 事務局からのお知らせ、入退会者  
編集後記・ご意見募集

地盤調査からコンクリート杭・PC基礎の  
製造・施工まで対応

# 目立たない安心を お届けします

詳しくは、ホームページで ▶ 野村商店 🔍

[www.nomuragroup.com](http://www.nomuragroup.com)



NOMURA Since 1922 株式会社  
**野村商店**

伊東営業所 TEL.0557-45-2245  
伊豆南営業所 TEL.0558-22-3655  
熱海営業所 TEL.0557-82-1244  
伊豆中央営業所 TEL.0558-76-3114  
御殿場営業所 TEL.0550-83-1306  
沼津営業所 TEL.055-941-7020  
静岡営業所 TEL.054-284-3461  
基礎事業部 TEL.054-284-3461  
浜松営業所 TEL.053-422-3636

## 会長挨拶

公益社団法人  
静岡県建築士会

会長／飯尾清三



昨年6月に会長に就任以来、皆様のご支援、ご協力を賜りながらなんとか一年を務めることができました。

令和元年の定時総会において、平成30年度の報告と令和元年度の予算案、事業計画などをご承認いただきましたこと、また日頃より会の運営につきましてご支援、ご協力をいただいておりますことを、まずもって感謝申し上げます。

昨年会長就任時に、総会でお話ししました幾つかの課題につきまして、報告をさせていただきます。

最初に、法人の基盤である会員数の減少と、高齢化についてであります。いままで多くの諸先輩がこの問題に取り組んでこられ、一朝一夕ではならず、現在に至っております。

継続事業としましては、総合資格学院、日建学院などの建築士試験合格者との懇親や受験者への製図課題の見学会などの受験対策の場に於いて、会をアピールするとともに入会を促しています。また木造塾など非会員が多く受講する事業におきましては、入会案内など地道ではありますが、今後とも続けていく予定です。

次に、自己研鑽の場の提供ですが、気軽に実行できる地区事業や会員相互の親睦につながるものなどを主眼とし、各ブロックにおいて開催をしております。

新たな取組みとしては、各地区、各ブロックとの情報共有を目的として理事会を東部、西部にて2回開催し、地元会員にも出席いただいていた意見交換を行い、今後の活動の参考にしました。今後も継続したいと考えています。

次に、合理化を目的とした委員会構成の見直しや検証につきましては、理事会において、機構、委員会の活動状況を毎回担当理事から報告してもらい、情報の共有化を図りました。

これにより、各理事が全体事業の状況などを把握することができ、それぞれの問題点などを理事会にて討議することとしました。

また、本年度からはブロック事業につきましても理事会にて報告をお願いし、ブロックの情報の共有化も図っていきたくと考えています。

情報発信の要であります、ホームページも立ち上げから時間が経ちましたが、その機能のひとつであるメールマガジンの発行につきましては、なかなか受信登録者が増えず、苦慮していましたが、事務局にて一括登録するなど、手直しとともに情報提供のスピードと事務局の配信の手間を解消しました。

引き続き不具合の修正や経年によるリニューアルも今後は進めたいと思います。新しくフェイスブック、ツイッターなども活用できるかも検討してみたいと思います。

全国大会「静岡大会」についてですが、本年度は、「準備委員会」を、東中西部の3ブロックから選出いただいた委員と総務会メンバーで立ち上げ、「静岡大会」への準備を進めていきたいと思っております。

開催費用につきましては、連合会からの交付金、東海北陸ブロックの6県からの負担金、大会登録費などが充てられることとなります。

全国大会の経理につきましては、静岡県建築士会の会計とは別に、全国大会の会計を設けて処理していきます。こちらの収支報告は、年次ごとくらいに報告させていただく予定です。

今年度の総会での質疑のことで、「会員減少の原因と今後の対応はどのように考えているか」、「静岡士会の会費が年3万円で全国的に見ても高額である、会費については何か考えはあるか」等の質疑がありました。この問題は、冒頭でもお話ししましたが非常に難しい問題であります。建築士そのものの人数が半減した現在の入会率は、相変わらずの20%弱で、一番会員数の多かった約3,000人であった時でも入会率は同様の20%弱であり、これを30%、40%にすることは、非現実的な数字であります。

連合会の会員増強タスクフォースの提言は、まわりの建築士に声掛けして入会を促すことや、会員増強を実践できたところは、表彰したり報奨金（連合会会費の免除など）を出す等が案として出てきております。

入会を促すことはもちろん必要で、非会員と一緒に事業や親睦、見学会、講習会等を行うことから入会へ結び付け、人的繋がりを含めて、会員のメリットとして理解してもらう必要があると思います。

もっと実利的なメリットがあればそれに越したことは有りませんが、一士会としては地元企業や店舗などと提携して、会員割引や優遇を模索し、何らかの形にすることも必要かと思っています。

今後の士会の在り方としては、少数精鋭とまでは言いませんが、よほどの会員メリットが付加されない場合には、今よりもさらに少ない会員数にて会を運営していかなくてはなりません。会費のことも確かに年3万円は全国で一番高い会費であります。ただ静岡士会の場合、本会での委員会や機構、ブロックでの委員会、地区での活動と三重構造の組織となっており、それらの事業費、経費を負担しています。今までは各種の受託事業にて公益事業を実施し、各管理費や経費を捻出してきました。TOUKAI-0が終焉を迎えつつある現在、近い将来の組織、会員数、会費など静岡士会の在り方を検討する委員会の設立も考えなくてはならないと思います。

現役員にて2年目に入りますが、これらの課題に対して新規、継続の施策で対応し、3年後の全国大会を無事乗り切るよう準備して行きたいと思っております。

会員の皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。



## 来賓祝辞

静岡県議会

議長／鈴木利幸



公益社団法人 静岡県建築士会 令和元年度定時総会の開催に当たり、静岡県議会を代表いたしまして、一言、お祝いを申し上げます。

皆様には日頃から、住まいをはじめとしたあらゆる建築物の安全性や快適性につながる設計、施工監理を業務として、建築を通じ本県の発展に多大な御貢献をいただいておりますことに、深い敬意と感謝の意を表する次第であります。

また、栄えある県知事褒章を受章されます松下様、本日は誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げますとともに、今後の益々の御活躍をお祈りいたします。

さて、貴会は公益法人として、日頃より建築士の資質と技術力の向上に御努力

され、また、本県が地震対策として推進する「TOUKAI-0」事業にも積極的に取り組んでいただいております。

また、昨年6月に発生した大阪北部地震や9月に発生した北海道胆振東部地震など、規模の大きな地震が全国各地で発生しており、改めて地震対策の重要性を痛感しているところであります。

一方、これらの地震により新たな課題や知見が明らかにされつつあり、大きな教訓を与えるものとして、本県の地震・津波対策の充実強化に反映していくことが極めて重要であると考えております。

私ども県議会といたしましては、皆様の活動に今後とも支援を続けてまいる所存ですので、皆様におかれましても、大規模地震対策とともに、県民個々の住宅建築に加え、景観形成などの地域づくり、まちづくり活動においても、県民の皆様の信頼に応える確かな知識と技能、さらに豊かな感性を存分に発揮されますことを御期待申し上げます。

結びになりますが、静岡県建築士会のみずみずの御発展と、会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。



## 2019 しずおか木造塾 受講生募集

今年で20年目を迎える「しずおか木造塾」、今年度も各分野の第一線で活躍されている講師をお招きして5回の連続講座を行います。皆さんの業務のレベルアップの場としていただければと思います。

会 場：静岡県産業経済会館3階（静岡市葵区追手町44-1）

定 員：80名（先着順） \* 「申込はお早目に！」

参加費：建築士会員 15,000円（5回分、税込、資料代含）

応募期限：令和元年8月23日（金） \* 「申込はお早目に！」

申込み・問い合わせ：（公社）静岡県建築士会 TEL 054-254-9381

第1回 9/7（土）：「街とつながる、環境とつながる」関本 竜太 / 「木造の近未来」古川 泰司

第2回 10/26（土）：「町と家の間を考える」伊礼 智 / 「林業業界の現状とこれから」速水 亨

第3回 11/16（土）：「木構造設計の勘どころ」山辺 豊彦 / 「素材と工法・・・伝統と創造」六車 誠二

第4回 1/18（土）：「My断熱基準をつくる」南 雄三 / 「木造住宅の“強・用・美”」三澤 文子

第5回 2/22（土）：「新・エコハウスのウソ」前 真之 /

「火事に負けない中大規模木造のつくりかた」安井 昇

## ■令和元年度 定時総会議事録

公益社団法人 静岡県建築士会

### 1. 開催日時

令和元年6月13日(木) 午後3時30分開会  
午後5時50分閉会

### 2. 開催場所

中島屋グランドホテル 4階 オーキッドの間  
静岡市葵区紺屋町3-10

### 3. 総会開会 司会：鈴木純哉常務理事

#### (1) 国歌斉唱

#### (2) 開会の言葉 金子弘一 副会長

#### (3) 物故者等への黙禱 物故者5名

浜松地区 中野 桂 様、裾野地区 森川與志雄 様  
熱海地区 山崎光充 様、静岡地区 山崎弘資 様  
富士地区 江藤義秀 様

#### (4) 会長挨拶 飯尾清三会長



#### (5) 綱領唱和 渡邊俊伸 青年企画委員会委員長

### 4. 議事

#### (1) 出席者数の報告

ア 正会員の出席者数76名、書面表決提出者数629名  
合計705名

イ 正会員総数1,141名の過半数を超えているため、  
定款第18条第1項の規定により本日の定時総会は成  
立した。

#### (2) 議長の選任

定款第16条において、「総会の議長は、その総会にお  
いて、出席した正会員のうちから選任する。」と規定さ  
れている。司会者が選出方法について諮ったところ、  
「司会者一任」の声があり、司会者が中遠地区の原田  
清司氏を指名し、全員の承認を得た。

#### (3) 原田清司議長 就任挨拶

#### (4) 議事録署名人の選任

定款第20条第2項の規定に基づく2名以上の選任に  
ついて、議長に一任していただけるか諮ったところ  
「異議なし」の声があり、議長は中部ブロック静岡地  
区の石垣秀芳氏、中部ブロック静岡地区の澤本幸伸氏  
の2名を選任した。

#### 【議場締切出席者確認】

正会員の出席者数81名、書面表決提出者数629名  
合計710名

### (5) 議案審議及び事業報告

#### ア 平成30年度事業の報告

- ・原田議長は、執行部に説明を求めた。
- ・小野信一常務理事が本会事業について報告、その後、  
佐藤正一常務理事が東部ブロック事業、小野信一  
常務理事が中部ブロック事業、鈴木純哉常務理事が  
西部ブロック事業について報告した。
- ・原田議長は、「平成30年度事業の報告」と「第1号  
議案」は関連があるので、質疑は後程一括して受け  
ると述べた。

#### イ 第1号議案 平成30年度収支決算(計算書類)の承認 の件

- ・原田議長は、執行部に説明を求めた。
- ・事務局長が平成30年度収支決算について説明した。
- ・引き続き、細澤啓司監事から、5月8日に望月廣道  
監事、森下庄治監事、佐藤護監事の4名で監査した  
結果、(1)事業報告及び事業報告の附属明細書は、  
定款に従い、会の事業の運営状況を正しく示してい  
るものと認め、(2)貸借対照表、正味財産増減計算  
書、貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細  
書及び財産目録は、定款に従い、会の財産及び収支  
の状況を正しく示しているものと認めるとの報告が  
あった。
- ・原田議長は、執行部の「平成30年度事業の報告」、  
「第1号議案」の説明及び監事の監査報告について  
質疑を求めたが質疑はなかった。
- ・原田議長は、「第1号議案」について、正会員は受付  
で渡された表決用紙に記入の上机の上に置き、これ  
を事務局職員が回収・集計するよう指示した。  
(第1号議案 事務局回収・集計)
- ・集計結果を事務局長が報告  
出席正会員の表決総数は81名、その内賛成が80名、  
白票が1名、書面表決による承認は619名で、  
賛成の合計は699名であり、本日出席正会員と書  
面表決提出者数の合計710名の過半数355名を  
超えている。
- ・原田議長は、ただ今の報告により、「第1号議案は承  
認された」と宣言した。

#### ウ 令和元年度事業計画の報告

- ・原田議長は、執行部に説明を求めた。
- ・金子弘一副会長が「令和元年度事業計画」について  
説明した。
- ・原田議長は、「令和元年度事業計画」と次の「令和元  
年度収支予算」は関連があるので、質疑は後程一括  
して受けると述べた。

#### エ 令和元年度収支予算の報告

- ・原田議長は、執行部に説明を求めた。
- ・事務局長が、「令和元年度収支予算」について説明し  
た。
- ・原田議長は、「令和元年度事業計画」と次の「令和元  
年度収支予算」の報告について、質疑を求めた。
- ・谷澤真明会員(志太地区)から、「ブロック化前は会員  
数が3,000以上いたが現在は1,300人、9年  
で1,700人減少している。会長の挨拶で会員増強



が急務との話があったが、会員を増やすことより先ず減少経過を検証して、減少を食い止める方が先ではないか？」との質問があった。

- ・飯尾会長から、「ご指摘のとおり会員数はピーク時の半分以下である。連合会の会員増強タスクフォースに出席して全国的な状況を聞くと、会員の減少は本会だけでなく全国的に同じ状況である。昨今の本会の退会者の状況は、約9割の方が60代後半から70代の人で、仕事をやめるとか子供との代替わりが理由と思われる。建築士の数が半分になり、会員も半分になっているが、入会率は20%前後でそんなに落ちていない。連合会から提案されている促進策は、周りの人に声を掛けようということ、我々の仲間の中に会に入っていない人が沢山いるので、先ずその人たちに声を掛けようということである。また、何かメリットを作っていくことが大事だと思っているが、これも中々難しい。こんなふうにしたらどうだと提案があれば、受け賜りながら対応して参りたい。」と回答した。
- ・谷澤真明会員(志太地区)から、「やめた人の原因を検証してもらいたい」との意見があった。
- ・成島章文会員(静岡地区)から、「石川県の会費は1万5千円、東京は1万8千円である。会費が高くて払えないのでやめるとの声も聞いた。こうした点も踏まえお願いしたい。」との意見があった。
- ・丹羽慶成会員(静岡地区)から、「入会するのに入会費と合わせて4万円必要となる。若い年代は支払に対するメリット、デメリットを考える。建築士の共済組合があり、国民健康保険より安くなると聞いたことがある。会員は建築士の共済組合に加入できるとか、このような点にメリットを見出せるのではないか」との意見があった。
- ・原田議長は、以上により予定の議事は全て終了したことを宣言し、議事進行協力への謝辞を述べ降壇した。
- ・司会者が、来賓入場を宣言  
(来賓入場)



## 5. 来賓紹介

- ・佐藤常務理事が、来賓及び相談役を紹介した。

静岡県議会議長 鈴木 利幸 様  
静岡県くらし・環境部部長代理 市川 敏之 様  
静岡県くらし・環境部建築住宅局長 青野 直己 様  
静岡県くらし・環境部建築住宅局住まいづくり課長  
平松 勇人 様

一般社団法人静岡県建築士事務所協会

会長 井上 泉 様

公益社団法人日本建築家協会東海支部静岡地域会

地域会長 八木 紀彰 様

一般財団法人静岡県建築住宅まちづくりセンター

理事長 諏訪 久男 様

一般社団法人静岡県設備設計協会

会長 植田 賢司 様

一般社団法人静岡県設備協会会長 磯谷 巖 様

特定非営利活動法人静岡県建築技術安心支援センター

理事長 鈴木 敦夫 様

公益社団法人静岡県宅地建物取引業協会

副会長 渡邊 照芳 様

一般社団法人静岡県建設産業界団体連合会専務理事及び

一般社団法人静岡県建設業協会専務理事 西川 久男 様

静岡県土地家屋調査士会副会長 栗田 隆司 様

株式会社建通新聞社静岡支社長 白井 裕康 様

公益社団法人静岡県建築士会相談役 大澤 稔 様

公益社団法人静岡県建築士会相談役 西山 昌行 様

公益社団法人静岡県建築士会相談役 佐藤 博行 様

## 6 来賓祝辞

- ・静岡県議会議長 鈴木 利幸 様
- ・静岡県くらし・環境部部長代理 市川 敏之 様

## 7 祝電披露

公益社団法人日本建築士会連合会

会長 三井所 清典 様

静岡県行政書士会会長 平岡 康弘 様

## 8 表彰

静岡県知事褒章の授与

褒章伝達者 静岡県くらし・環境部

部長代理 市川 敏之 様

受章者 松下 好宏 副会長

(代理受領 飯尾 清三 会長)

松下好宏氏謝辞(飯尾会長代読)

## 9 閉会の言葉

齊藤 功 副会長



(来賓退席)

午後5時50分閉会



## リバースモーゲージと「協住の家」

倉田 剛\*

筆者が理事長を務める特定非営利活動法人リバースモーゲージ推進機構は、令和元年を以って第9期を迎える。

設立当初は、高齢者の持家を担保に生活資金を融資し、死後一括弁済するリバースモーゲージ制度に寄せる世間の関心は高く、不動産関連の方々が多数入会した。しかし、しばらくすると櫛の歯が抜けるように退会が続いた。リバースモーゲージ制度が、日本人の家族観や資産観となじまない点、不動産市場の低迷や日本人の長命化もリスク視された点等々から、結局、都市部に住む富裕層向けの生活余裕資金融資の金融商品に終わってしまったからだ。遺憾なことだが、地方に住み続ける持家高齢者世帯がリバースモーゲージを利用できないとなると、その先行きは暗澹としたものになる。高齢化が進む地方では、子供たちの働く場所が見つからない。親の方も、長い老後を子供たちの負担にしたくない。こうしたジレンマを消去法で考察すると、老後は、単独で暮らす（個住）よりも、家計費も軽減できる共同生活を考えてみよう、そうした目論見が「共住する年金の家」であった。この共同生活の試みは、「家事など分担しながら年金程度で賄える軽費の生活共同体」とも説明できる暮らし方であり、「コハウジング(cohousing)」と重ねたイメージである。

60年代後期に北欧に萌芽し、北米やオーストラリアなどで普及定着しているコハウジングは、リバースモーゲージ制度と並んで当機構の研究テーマにもなっている。最近、当機構のセミナーでも、リバースモーゲージ制度よりもコハウジングの方に受講者が増えている。後者の方は圧倒的に女性の受講者が多い。シニア・シルバー世代はコハウジングを終の住処にどうかと思案し、30代の女性たちは結婚しなくても安心して暮らせる新しい居住モデルとして関心を向け始めているからだ。

しかし、2000年代初頭、私が家族を伴って調査して回った北米やオーストラリアのコハウジングは、「共住する年金の家」とは、その成り立ちから異なっていた。日本でコハウジングについて話すと、「それはシェアハウスのことだね」と言われてしまうが、でも、それは違う。日本でいうシェアハウスとは、賃貸住宅で、その設備や空間を入居者同士が共用（シェア）する住まい方の家であろう。

筆者が知る欧米のコハウジングの多くは区分所有権の住居群である。日本のマンションのように1棟建もあるが、広い敷地に戸建住宅が点在しているコハウジングもあって、そのグランドデザインは様々である。しかし、いずれのコハウジングにも共通点がある。一つは、居住

者全員が集い利用し合う「コモンハウス（共用棟）」の存在であり、いま一つは、居住者たちが和やかな雰囲気の中でゆったりと過ごしている“健康で文化的かつ快適”な居住環境である。このハードとソフトのハイブリッド的要素がコハウジングの価値・メリットを形成しているのだが、さらに一言、説明を要する点は、コハウジングが醸成する「社会関係資源(social capital)」である。信頼、規範、ネットワークの3つの要素で定義される社会関係資源については、コミュニティの住民同士の関係に育まれる「好ましい隣人関係」とも換言できる。コハウジングを、「手頃で快適な住居」と「良好な隣人関係」の二つの要素で定義付けている海外の文献も見るが、いずれも間違っていない。こうした観点から、筆者は、最近、「コハウジング」を「共住する年金の家」ではなくて、「協住の家」と意識して使い始めている。

改めて、筆者が説く「協住の家」とは、「一つ屋根の下で、あるいは同じコミュニティのなかで、一緒に生活(共有・共用・共助)する疑似家族の居住モデル」と定義付けられる。そもそも「家族」とは、「両親とその子供たちからなる基本的な社会単位」と定義されている。しかしMerriam-Websterには、「家族は、一つの屋根の下で、多くは、一人の頭(中心的人物)の下に生活している個人のグループ」とする定義も見付けられる。「協住の家」に住まう「疑似家族」とは「第三の家族」とも言い換えられ、後者の意であることに説明を要しない。

昨年から今年にかけて、当機構に4名の女性が入会された。認知症の両親を介護しながら働いている主婦(50代)、「認知症介護家族の会」の世話人(60代)、介護事業所の経営者たち(60代)である。彼女たちの入会の動機には明確な共通点がある。彼女たちは、現行のリバースモーゲージ制度の普及には懐疑的立場だが、コハウジングに抱く憧憬の念は強く、さらに「協住の家」に向けた現実的な関心が直截的な入会の動機となっている。

100歳時代を生きる日本人は、かつての平均寿命50～60代のころとは明らかに別格の生涯設計を組み立てなければならない。近年顕著な家族の小規模傾向で、経済力や家族力は大きく減退し、介護力はすでに外部依存が当たり前になってきている。ならば「第三の家族」と暮らす「協住の家」に期待する声は高まるばかりである。

この原稿を書きながら納得したことがある。古来、「住まいと暮らし」は女性の母性的領域であり、男どもは、精々、そのお手伝い程度の存在だということ。

\* 一級建築士、法政大学・経営学博士、愛知工業大学・経営情報科学博士、NPO法人リバースモーゲージ推進機構・理事長、住宅資産研究所・所長(一社)しんきん成年後見サポート沼津・理事

# 2018しずおか木造塾 第5講座（木構造、大工育成）

しずおか木造塾委員会 鈴木浩一郎、石上鎮夫

2019年2月16日（土）静岡県産業経済会館

## 第1部「ヤマダの木構造の勘どころ」

講師：山田憲明（構造家・東京）

□ 構造計画における最大の課題は次の3点。

1. 広い空間 2. 高い空間 3. 開放的な空間

留意点として

○ (1) 鉛直荷重に対する小屋梁・床梁の強度・剛性入手可能な木材長を踏まえた継手仕様・配置、耐力壁間の距離増大に対する水平構面の剛性等、クリープ変形絶対量増大、床の遮音・防振性能、乾燥による断面・材軸方向の縮み

(2) 材長は定尺4～6mで足りるが力学的課題がある。柱の座屈（階高4mに対し120角柱の許容圧縮応力度は20%に低減）

ア 壁・受風面積の増大による地震・風圧荷重の増大

イ 水平荷重時における耐力壁両端柱変動軸力の増大

ウ 受風外壁、柱の面外応力・変形の増大

○ (3) 機能確保による耐力要素設置スペースの限定  
耐震・耐風性能と開放性の両立の難しさ

吹抜部の水平構面の剛性・強度、外壁の面外変形

□ 解決方法

1. 太く長い材を使う 2. 異種素材を組み合わせる 3. 強いかたちをつくる 4. ラーメン構造をつかう 5. 性能の高い耐力壁をつかう

6. 透過性のある耐力要素をつかう

7. 耐力壁の向きを工夫する

材の特性を生かしつつ、木材だけにとらわれない構造の考え方に脱帽。鋼材を使用する、RC造で構造コアをつくる等、豊富な事例に納得。

## 第2部「大工の伝統技術を継ぐ」

講師：渡邊 隆氏（東京：風基建設）

少子化、人口減少などにより「手刻みのできる大工」が減少しており、人材育成に力を入れている。

文化庁の支援を頂くため、大工技術を重要無形文化財としてユネスコに申請予定。

木造の持つ可能性＝大工の可能性は、技術の発達により幅が広がっている。国交省にて毎年、伝統的な仕口、継ぎ手の耐久実験を行っているがデータは一般公開されていない。

大工は木を読み取る力が必要で、「一軒を組み立てるストーリー」を作れるかが鍵。緻密さと良い加減さが必要であり、また棟梁としての多業種のまとめ力も必須。これからは、経験として継承してだけでなく、後世に伝えていくため、データ化して残していく必要がある。

大工は、美しく納める努力も惜しんではならない。木材の特性を読み解いて、適切に加工し、適切に納める事。「木割書」を参考に現代版へと更新し、創作していく必要がある。海外の建築技術を日本の大工が読み解き、研究している。

2018年は構法の歴史書が多く出版されている。

伝統的構法とは、変形性能を活かした設計で、伝統構法とは、基準法前の木造。在来工法は、建築基準法に合致するものと、仕分けすることができる。

伝統構法を学び、次世代へ引き継ぐための人材育成をしていかなければいけない。

## 減量トレーニング

無責任／西部ブロック

6月初旬の事、仕事の打ち合わせで東京に行った時の事、大学時代から付き合いのあるH氏が、その10日前ほどに購入したトレーニング器具の使用方を教えて欲しいと連絡が有り、私の宿泊先に購入した運動器具を持ち込みその日の夜中からテクチャーを開始して次の日の昼頃までかけ教え込みました。現状、H氏の体重は86kgおなか周りがかかなり有り、スラックスがどんどん大きくなっているそうです。今回、購入した運動器具で体重を減らしお腹周りも減らせたらと考えているようです。とりあえず3か月間一生懸命やってみると言っていました。

ところで、何故、設計士の私のところにそんな専門外と思われる減量トレーニングの相談が有るのかと言いますと、私が1年半前から振動トレーニングボードを使って20kgの減量に成功した為、その結果を見て同じ運動器具を購入する方が私の周りに結構増えて居る次第です。ただし、器具メーカーの宣伝文句が機械に乗っているだけで効果が有るように説明している為、どなたも私ほどの効果が見られない為、私に相談を持ち掛ける方が増えて居る様です。

20kgの減量した結果、運動を始める前に着ていた衣服はすべてサイズダウンとなりジーンズのサイズに至っては37インチから現在32インチまで下がってしまいました。ここの所衣料費が結構かさんでしまってます。痩せて健康になったように感じ、動き一つとっても以前に比べ多少なりとも軽快になったように感じます。少しは寿命が延びたように感じます。64歳にして体を動かすことの大切さを日々感じている今日この頃です。

## 働き方改革の波

中部のサラリーマン建築士／中部ブロック

私は1000人規模の会社に勤務するサラリーマンである。会社には「働き方改革」の波が押し寄せて来ている。

まず、フレックスタイムが導入され、出社の時間は午前6時から10時の間で自由になった。帰宅の時間も午後3時以降で自由である。また、40時間以上の残業は一切出来なくなった。遅くまで仕事をするのが美德とされた時代は終わったのである。

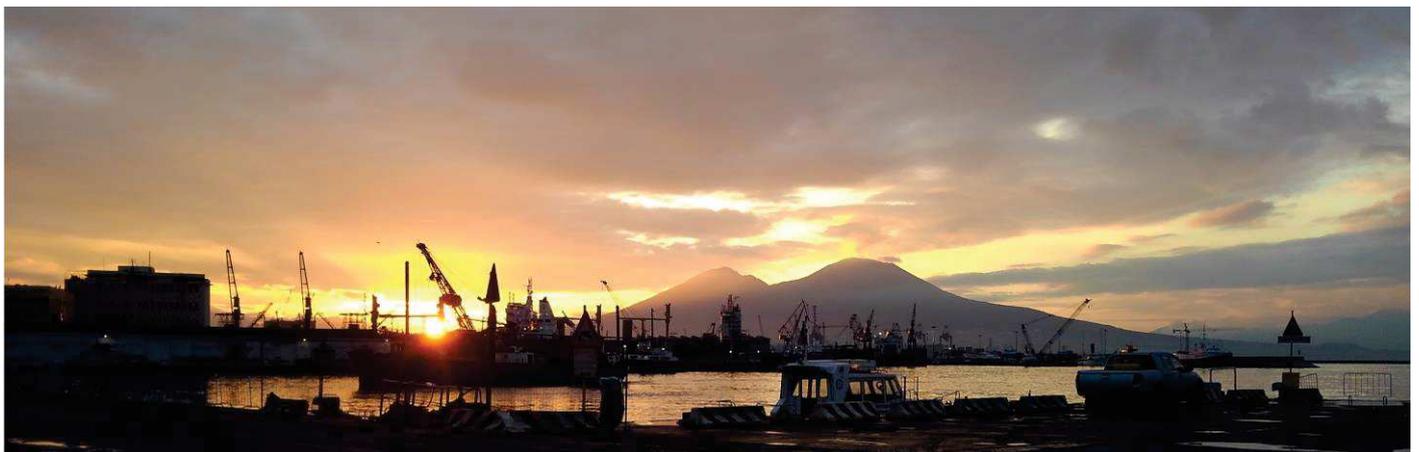
次に、社員一人一人にスマートフォンが配布され、デスクの上の固定電話が撤去された。そのスマートフォンは社内では内線電話、社外では通常の携帯電話として通話できる。つまり、社内では、部署への電話をかけるのではなく、個人を特定して電話連絡を行うのである。また、転勤の際はこのスマートフォンを持って転勤するのである。

次に、無線LANの基地局が社屋内部のあちらこちらに設置され、パソコンはB-5ノートに軽量化、社内であればどこでも仕事ができるようになった。また、在宅勤務も可能となった。

まとめると、好きな時間に、好きな場所で仕事をするということである。時間と場所を選ばず、全て自分で決めろということ。出社時間はバラバラとなり、朝礼は無くなった。人と人の繋がりが希薄になり、昭和世代の小職にはなかなか馴染めない。今の建築士会と何処か似てないかと自問自答してみる。

やはり人と人の繋がりは大切であり、支部があったころより減ってはいるものの、時々開催される建築士会のイベント・会議等で、人と人の繋がりを確認できるとホンワカと暖かい気持になる。

「働き方改革」はもとより、進むデジタル化、AIの進化がもたらす社会は間違いなく便利なのは分かるが、人とどのようにコミュニケーションを取っていくのかということが、今まで以上に重要となってくる。ひょっとしたらコミュニケーションにお金を払う時代が来るのかも。



ナポリ湾から朝日とヴェスヴィオ火山



まち歩き



提案の発表

## 令和の時代 地域づくりチャンス到来

平成から令和に年号が変わったからと言って、翌日から社会が、生活がバラ色に変化したわけではないし、ガラガラポンでもなかった。

人為的な区切りを通じて、生活や暮らし、社会の様子や地域をふりかえり、将来を考える良い機会になった。

今回、象徴天皇の崩御ではなく退位・即位により平成から令和に変わる時期が決められていた。その間に十分とは言えないが時間はあった。

しかし、食品関係の商品など、既存商品に単に令和の文字を付けたようなものの報道が多く目についた。令和の始めに新しい商品ができるのではと期待を抱き、みごとに裏切られた。一方的に期待するほうが悪いのだが・・・大きく変わらないのだから。

ところで、お茶のまち静岡のお茶業界をみると、生産者がこだわり、自信を持って生産したお茶や、専門家がお奨めのお茶は売れず、消費者は違うお茶を好んで購入している。

さらに、水分補給飲料としてのペットボトルへの移行、味覚も変化してきている。

人の価値観やマーケットの変化が顕在化し始めているにもかかわらず、多くの人は保守性が強く、今まで当たり前に来てきたこと、ルーチンワークなどにより、新たな発想や知恵が出しづらくなってきている。この人為的な区切りをきっかけとして、地域の見方や発想を変えていく、チャンスなのかもしれない。

### チャンスをビジネスに

多くの地域では人口減少・少子高齢化、社会経済の環境が変化し、今まで取り組んできたことが通用しにくくなってきている。

また、地域づくりにおいて、受け入れる人の数ではなく、人の質に視点を置いた地域や住民との交流や関係性を築き高め、「行きたくなる、暮らしてみたく

なる地域づくり」を目指しつつある。

こうした背景への対応には、人々が共感するインパクトのある地域イメージ、地域ブランド化が重要になってくる。

この地域づくりには、例えば、SDGs<sup>※1</sup>を踏まえて地域を見直し、地域の将来像を描き、現在と将来のギャップを埋める取組方、取組内容のロードマップを創ることであろう。

この取組の担い手は、今、高校、大学が授業の一環として、地域づくりに参画し始めていることを踏まえ、学生目線を持って建築士と学生が、協働による地域づくりに取り組むことが望まれる。

この時の建築士の役割は、学生により添い、伴走しながら学生の主体性やアイデアを引き出すことである。ファシリテートすることである。

これは、地域課題解決の新しいビジネスであり、ビジネスチャンスでもあると考える。

### 【学生による地域課題の発見のワーク】



※1：Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略

文責 中部ブロック清水地区 木村精治

## ■イタリア縦断—世界遺産の旅—

# Roma・Vaticano

### ローマ・バチカン市国

ローマはイタリアの首都でその美しさから「永遠の都」と呼ばれています。政治、経済、文化、宗教の中心地で紀元前から続く歴史のある誰もが知る都市です。そのローマ市の中に教皇の居住するバチカン市国があり、その両方に多くの世界遺産や、文化的芸術的価値のある建築や芸術品が点在しています。

#### ■サン・ピエトロ大聖堂(右)

世界最大級のキリスト教教会でカトリックの総本山。隣接するバチカン宮殿にはローマ教皇が住みます。

#### ■バチカン美術館(下)

ローマ教皇の収蔵品を収蔵展示しており、システリーナ礼拝堂も見学出来ます。総ての諸室と廊下の美術展示品を見て回る全長 7km に及びます。バチカン市国全体が世界遺産です。

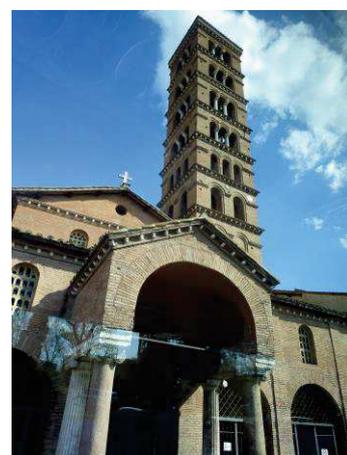


#### ■スペイン広場(左)

映画で有名なスペイン階段が広場に接しており上にあるトリニタ・デイ・モンティ教会へ続いています。

#### ■サンタ・マリア・イン・コスメディン教会(右)

有名な真実の口はこの教会の正面柱廊の奥に飾られています。鐘楼最上部の部屋の高さはローマで最も高いとされています。



#### ■サンタ・マリア・デイ・ミラーコリ教会

ポポロ広場に建つ、双子のような教会で右がミラーコリ教会、左がモンテサント教会です。



#### ■コロッセオ

世界遺産です。ローマ帝政期に造られた円形闘技場で長径 188m、短径 156m の楕円形、高さは 48m、約 5 万人もの人を収容しました。



#### ■トレヴィの泉

ローマで最も巨大なバロック時代の人工の泉で有数の観光名所。大量の観光客でなかなかコインを投げる順番が回ってきません。

## アルベルベッコ・マテラ

白壁に円錐形の石積み屋根を載せたトゥルッリ（トゥルッコの複数形）と呼ばれる伝統的な家屋のあるアルベロベッコ。サッシ（石・岩を意味するサッソの複数形）と呼ばれる洞窟住居が何層にも重なって存在しているマテラ。いずれも特殊な事情から生まれた住宅群で共に世界遺産に登録されています。

## ■イタリア縦断—世界遺産の旅—

## Aalberobello・Matera

### ■サンタントニオ教会(左)

唯一のトゥルッリ屋根の教会で伝統的手法で1926年に建てられました。2つの部屋と1つの鐘楼から成っています。

### ■トゥルッリ(右)

上段の写真はアイア・ピッコラ地区にあるトゥルッリで、この地区は観光地化し土産物店などが立ち並んでいる地区です。

中、下段の二枚はモンティ地区。住宅街として生活が営まれていて規模はやや小さいながら静かな町並みで本来の住宅としての雰囲気を感じられます。

### ■トゥルッコ・ソヴラーノ(左)

最も大きな2階建てトゥルッコ。12の屋根があります。トゥルッコの屋根は家屋に課す税を逃れる為、調査の際に屋根を壊せるよう簡易な石積みにしたといわれています。

### ■サンタ・マリア・デ・イドリス教会(左)

マテラの岩の上に十字架がある岩盤を掘り抜いて造られた典型的な洞窟教会。左下も同様に作られた洞窟教会です。

### ■カーサ・グロッタ(下)

マテラの洞窟住居サッシでの暮らしを再現しています。手前に寝室を兼ねたリビング、小さなキッチンが付いていて、奥に家畜の部屋があります。水は雨水を地下に貯めて使用していたそうです。



## ■イタリア縦断—世界遺産の旅—

# Napoli・Pompei

### ナポリ・ポンペイ

ナポリは歴史的栄華の跡が残る南イタリア最大の都市、サンタ・ルチアの港から見えるヴェスヴィオ火山、ヴォメロの丘から眺めるナポリの美しい風景は世界的に有名です。また近郊にあり世界遺産として登録されているポンペイは多くの観光客が訪れる非常に広大で歴史的価値のある古代遺跡です

### ■ヌオヴォ城(下)

ヌオヴォ城は「新しい(Nuovo)城」を意味し、卵城と区別するために命名されました。中世13世紀、ヌオヴォ城は、フランス王国のアンジュー地方を統治した貴族、アンジュー家の城としてルネッサンス様式にて建設されました。



### ■ウンベルト1世のガッレリア(下)

1890年に完成したガッレリア(アーケード)で、ミラノの「ヴィットリオ・エマニュエーレ2世のガッレリア」を模して建設されています。十字に交わった中央部の天井は、ガラスと鉄で造られた、最高高さ58メートルの巨大なドームになっています。



### ■卵城(上)

サンタルチア港の小島に突出して作られた要塞です。別荘として建築されましたが、ノルマン人のオートヴィル家が、要塞として機能を拡大しました。基礎の中に卵を埋め、「卵が割れるとき、城はおろかなポリにまで危機が迫るだろう」と呪文をかけたことが城の名前の由来とされています。



### ■スタビアーネ浴場(右上)

紀元前2世紀に建造されたポンペイ最古の浴場です。



### ■娼館(右中下)

ポンペイには多数の娼館があり内部には壁画も残されています。



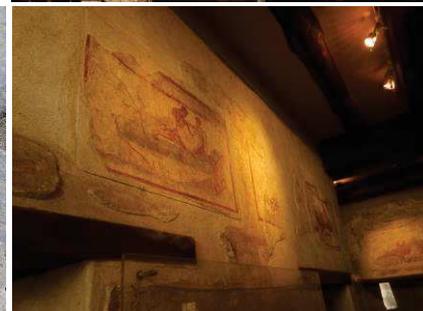
### ■水飲み場(下)

水道網が整備されていたポンペイには、いくつかのそれぞれ違うデザインの公共の水飲み場があります。これで市民は喉をうるおしました。



### ■シンボル(下)

通りの石畳には娼館の方向を示す男性のシンボルマークがあります。



## アマルフィ海岸・ピサ

世界一美しいといわれているアマルフィ海岸はソレントからサレルノまでの約40kmにわたる海岸線でポジターノやアマルフィ等の美しい街が点在しています。ローマ帝国の軍港だったピサのドゥオモ広場には有名な斜塔（鐘楼）、大聖堂、洗礼堂があり世界遺産に指定されています。

## ■イタリア縦断—世界遺産の旅—

## Amalfitana・Piazza



### ■ドゥオーモ(左)

アマルフィ大聖堂で町の中心ドゥオーモ広場から階段を上った場所にあります。ロマネスク、バロック、イスラーム、ビザンチン建築など様々な建築様式が混在しています。



### ■商人通り(左)

アマルフィの商人通りと呼ばれるメインストリート、石畳の道で、観光客でにぎわっています。

### ■裏路地(右)

一歩脇道に入ると途端に人通りが無く、入り組んだ迷路の様な路地が続きます。



### ■ポジターノ(上)

アマルフィ海岸の西端にあるの基礎自治体でアメリカやヨーロッパの有名人が休暇を過ごすために滞在する町です。近くの展望台からの街の眺めは大変美しいものです。

## ■ピサのドゥオモ広場

広場には洗礼堂、大聖堂、鐘楼、墓所回廊があり、特に鐘楼はピサの斜塔として有名。1173年着工時には鉛直であったが、塔が傾きはじめ、傾斜を修正しつつ建設されたものの修正できなかったため、最上階層のみ鉛直に建てられている。高さ55mある鐘楼は傾斜角は正の改修工事が行われ、一時は最大5.5度傾いていたが現在は約3.99度に是正されている。



# ■イタリア縦断ー世界遺産の旅ー

## Firenze

### フィレンツェ

花の女神フローラの町としてフロレンティアが語源とされる美しい都市。市街中心部は「フィレンツェ歴史地区」としてユネスコの世界遺産に登録されています。歴史的建造物に加え街の至る所等に美術品を数多く持っています。ダ・ヴィンチやボッティチェッリ等様々な芸術家が活動をしていました。

### ■ベッキオ橋(下)

第二次世界大戦中に壊されなかったフィレンツェのアルノ川にかかる唯一の橋。1345年の建造で橋の上に建物が建ち橋の東側2階にはヴァザーリの回廊が通っています。



### ■サンタ・マリア・デル・フィオーレ大聖堂とジョットの鐘楼(左)、大聖堂(下) サン・ジョヴァンニ洗礼堂(右下)

カトリックの教会でフィレンツェの大司教座聖堂です。ドゥオーモ（大聖堂）、サン・ジョヴァンニ洗礼堂、ジョットの鐘楼の三つの建築物で構成されています。大聖堂の巨大ドームはフィレンツェのシンボルとなっています。洗礼堂の扉はロレンツォ・ギベルティによるもので天国への門と呼ばれています。



### ■サンタ・マリア・ノヴェッラ教会

修道僧たちが薬草を栽培して薬剤を調合していたのが始まりで、その後発展した教会です。1612年に認可された薬局が今でも併設されており、これは現存する世界最古の薬局です。



## ヴェネツィア・ミラノ

ヴェネツィアはアドリア海のラグーナに築かれた都市。118の小島が橋で結ばれています。運河が多く走ることから、“水の都”と呼ばれています。ミラノはイタリア北部にあり商業、工業、金融の中心でイタリアの経済を支える都市です。ミラノ・コレクションが開催される事でも有名です。

## ■イタリア縦断ー世界遺産の旅ー

## Venezia・Milano



### ■ドゥカーレ宮殿(上)

ヴェネツィア共和国の総督邸兼政庁であった建造物。イスラム建築の影響も見られ、外観はゴシック風のアーチが連続し細やかな装飾が施されています。

### ■ため息橋(左)

宮殿の尋問室と古い牢獄を結んでいた大理石の橋です。



### ■鐘楼ーサンマルコ広場(上)

街のシンボルで高さ98.6mのヴェネツィアで最も高い建造物です。下半分はレンガ造り、上部に5つの鐘のあるアーチ型の鐘架があります。

### ■リアルト橋(下)

カナル・グランデ大運河に架かる最古の橋で、400以上ある橋の中で最も美しいとされています。大理石できており「白い巨象」とも呼ばれています。



### ■サン・マルコ大聖堂(下左)

ビザンティン建築を代表する記念建築物で、サン・マルコ広場に面しておりドゥカーレ宮殿に繋がっています。大理石と彫刻で豪華に飾り付けられたファサードの美しいモザイク、聖堂内の黄金のモザイクは当時のヴェネツィアの繁栄ぶりが伺えます。



### ■ミラノ大聖堂(右)

イタリア最大のゴシック様式の教会。135本の尖塔があり天辺にはそれぞれに聖人が立っていて、一番高いところに黄金に輝くマリア像があります。細かな装飾のファサードや、内部のステンドグラスが大変美しく、5世紀もの歳月をかけて完成された歴史を感じさせます。



## ◆編集後記

今回の特集は“イタリア縦断の旅”です。先日プライベートの旅行で回ったイタリアでいくつかの都市を回り、様々な歴史的価値のある建築物など見る機会を得たため、今回の特集記事を作ることにしました。幸いなことに天気にも恵まれ、なかなか良い写真も撮れたと思います。人の少ない写真を撮影するために早朝ランニングでホテルから名所まで行ったりと体力的にはハードでしたが、久しぶりの海外旅行は普段の日常とは違う、価値観、生活、景色、食事など新鮮な感覚を味わえてとても面白い経験となりました。また知らない街を早朝に走るのも非常に気持ちのいいものでした。旅行に何か別の目的を作ることで充実感が増す事も実感できたよい旅でした。

編集長：広報情報委員山口知己

## ◆お知らせ、その他

取材協力・素材提供

- ・ 静岡県議会議長 鈴木利幸様
- ・
- ・
- ・

ご協力感謝いたします。

## ◆ご意見募集

静岡県建築士会広報情報委員では、広報誌「建築静岡」をより有益な情報源とするためのご意見、ご提案を募集しています。お名前、ブロック名をご記入の上、下記あてに FAX でお願います。なお、いただきましたご意見は非公開とし、個々のご意見への直接回答は控えさせていただきます、ご了承下さい。

公益社団法人 静岡県建築士会  
広報誌意見募集係 FAX 054-273-0478

## ◆広報情報委員会

担当理事：立石昌江 (中部)  
委員長：杉山真一 (中部)  
副委員長：内山孝 (西部)  
：鈴木忠 (東部)  
委員：  
 (東部) 三田芳之 ・ 塩見敏弘 ・ 長尾隆行  
 (中部) 小沼勝也 ・ 星野浩二 ・ 佐野真浩  
 (西部) 福田光宏 ・ 志茂野昌歳 ・ 山口知己  
編集長：山口知己 (2019Summer)

発行所：公益社団法人静岡県建築士会  
〒420-0857 静岡市葵区御幸町9番地の9  
TEL 054-254-9381 FAX 054-273-0478  
http://www.shizu-shikai.com

印刷所：(有)橋本印刷所

## ◆事務局からのお知らせ

◇年会費の納入をお忘れの方は至急お手続きをお願いします。

お問合せは、本会事務局・各ブロック事務局まで。  
本会事務局：054-254-9381 東部ブロック：055-939-8210  
中部ブロック：054-204-6880 西部ブロック：053-451-5166

※会費及び入会金に関する規程

第5条第2項により会員様は、会費の年額を毎年5月27日（その日が土・日又は祝日に当たるときは翌営業日）までに納入しなければならないことになっています。

## 会員数 令和元年5月22日現在

■正会員 1,141  
■賛助会員 147  
■合計 1,288

### 入会者

■正会員 4名

静岡：中村 正史 2級 S22生 株式会社ケンセイ  
静岡市駿河区古宿294 すんぷ夢ひろば内  
静岡：高見 隼也 1級 H1生 株式会社池田建築設計事務所  
静岡市葵区本通1丁目2-4  
浜松：嶋 俊輔 1級 S58生 株式会社シーマー  
浜松市東区植松町265-15  
浜松：安井 孝浩 1級 S46生 須山建設株式会社  
浜松市中区布橋2丁目6-1

■賛助会員 1社

浜松：遠州鉄道株式会社

浜松市中区旭町12-1

### 退会者

■正会員 23名

■賛助会員 2社

会員資格喪失による退会者 正会員 5名

(公社)静岡県建築士会定款第10条の規定により、3月の開催理事会の承認を以って、平成31年3月31日付けで退会扱いとしました。

・小嶋 博史 ・青砥 万季 ・中村 俊文 ・田邊 隼平 ・邊見 健



モンティ地区のトウルツリ

## まちせんアカデミー

# 1級 2級 建築士受験講座

## 今年こそ 建築士の資格を取る!

合格第一主義の TAC メソッドによるわかりやすい講義と  
まちづくりセンターの有資格技術職員によるフォローであなたを合格へ導きます!



比べてください

どこよりも **リーズナブルな受講料**

まちせんオリジナル

苦手克服! **“構造・法規”強化コース**

TAC 建築士講座パンフレットを無料でお送りします。お気軽にご利用ください。

2019 年合格目標

**1級設計製図講座  
受講生募集中**  
(全9回・22万円)

■お問い合わせ、お申込み

まちせんアカデミー



**054-202-5588**

【電話受付時間 | 月～金 9:00～17:00】

■インターネットからの資料請求

パソコン



静岡 まちせん 検索

<http://www.shizuoka-kjm.or.jp>

スマホ



# 作品募集

Call  
For  
Entries

## 第51回

# 中部建築賞 2019

主催 中部建築賞協議会

### 1 応募作品

次の条件に該当するものとする。

(1) 平成31年3月31日までに竣工した新築、改修、修復等がなされた建築物（一団の建築群を含む。）で、作品点数は制限しない。

「一般部門」 公共・文教・生産・商業・厚生・集合住宅・団地計画・都市開発・都市公園などを含む建築物等で規模の大小は問わない。

「住宅部門」 主要用途が住宅。（集合住宅を除く。）

(2) 作品は、中部圏（愛知・三重・岐阜・静岡・福井・石川・富山・長野・滋賀の9県）内で実施されたものとする。

(3) 建築確認等が必要なものについては、その手続きが（1）の期日までに完了していること。

2 応募期間 令和元年8月1日(木)～8月31日(土)

3 問合せ先 「中部建築賞協議会」

〒460-0008

名古屋市中区栄四丁目3-2 6 昭和ビル2F 東海建築文化センター内

TEL. (052) 262-0838

# “建設業界の発展”のために協同できること

私たち総合資格学院は、建設業界の振興を目的とし、様々なかたちで全国の建設系団体や地方自治体と協同させていただいております。

その活動は設計展の支援から、講演会の支援や当学院合格者の入会幹旋まで多岐にわたりますが、ここではその取り組みの一部をご紹介します。今後も、No.1スクールの自覚を持ち、このような活動を通じて建設業界に貢献して参りますので、各種イベントや企画に関するサポート等については、お気軽に最寄りの当学院までご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。

## 一社) 東京建築士会 × 総合資格学院

### 住宅課題賞 ~建築系大学住宅課題優秀作品展~

東京建築士会の主催による設計展「住宅課題賞」は、建築を学ぶ学生のみならず、建築の基本である住宅の設計を通して建築への興味とその社会的意義の認識を深めるとともに、大学間、第一線の建築士との交流によって、建築教育の情報交換と向上を図る目的で開催されています。当学院が発行する本展記録集では、各校から選出された48作品すべてを各4ページで紹介し、作品紹介と一緒に課題文や指導教員のコメントも併せて掲載しています。



受賞者と審査員



住宅課題賞2017記録集

- オールカラー/1作品4ページで詳細に紹介
- 指導教員のコメントや各大学の課題文も掲載
- 豪華審査員による公開審査のドキュメントを収録

## 建築士会 × 総合資格学院

### 願書提出会場 / 合格祝賀会

当学院では各都道府県の建築士会様と共同し、建築士試験願書提出会場での教材の無料配布など受験生支援の活動を行っています。また、受講生の願書チェックなど受験申込をスムーズに終わらせるようサポートも行っていきます。毎年一月に全国で開催される合格祝賀会では、建築士会の皆様を来賓としてお招きし、建築士会の活動を知っていただくとともに、会員募集の場をご提供させていただきます。



願書提出会場の様子



合格祝賀会の様子

## 公社) 高知県建築士会 × 総合資格学院

### サマーセミナー in Kochi

高知県建築士会が主催する歴史あるイベント。高知県内の建築士・学生及び業界人、建築文化に興味のある一般の方々へ、国内外で活躍する建築家を招き、建築に対するポリシーや考え方を聞く機会を提供し、建築文化の発展に寄与することを目的として開催されています。



## 公社) 奈良県建築士会 × 総合資格学院

### TOYO ITO at YAKUSHIJI 「建築の夢」

当学院学院長がその理念に共感し、長年にわたり活動を支援する、日本を代表する建築家伊東豊雄氏を招いて、名刺を舞台とした地域色溢れる講演会。



## 総合資格学院は1級建築士試験も2級建築士試験も「日本一」の合格実績!

### 2018年度 1級建築士 学科・設計製図試験

#### 東海4県 ストレート合格者占有率



東海4県ストレート合格者156名中、当学院当年度受講生99名  
(2018年12月20日現在)

### 2018年度 1級建築士 設計製図試験

#### 東海4県 合格者占有率



東海4県合格者366名中、当学院当年度受講生219名  
(2018年12月20日現在)

### 2018年度 2級建築士 設計製図試験

#### 当学院 当年度受講生 合格者数



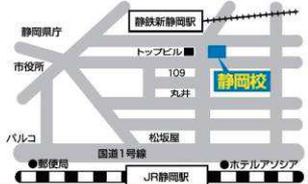
※全国合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。※全国合格者5,997名中、総合資格学院合格者2,179名・日建学院合格者2,137名・その他合格者1,681名  
※前記合格実績および合格者の内訳は2018年12月11日現在のものです。  
※正典・http://www.as3net.co.jp/nikken/index.aspx

- 2018~2014年度 1級建築士設計製図試験 全国合格者合計18,464名中、当学院受講生10,427名 全国合格者占有率56.5%
- 2018~2014年度 1級建築士学科・設計製図試験 全国ストレート合格者合計8,080名中、当学院受講生5,004名 全国ストレート合格者占有率61.9%

※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に基づき掲載しております。※全国/都道府県合格者数およびストレート合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。※学科・製図ストレート合格者とは、1級建築士学科試験に合格し、同年度の1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

### 静岡校

静岡市葵区佐馬町 9-1 河村ビル 5F  
TEL:054-275-3311 FAX:054-275-3301



### 浜松校

浜松市中区中央 3-9-3 UNビル 2F  
TEL:053-456-2211 FAX:053-456-2261



### 沼津校

沼津市高島町 6-3 アゼール沼津ビル 1F  
TEL:055-930-2621 FAX:055-930-2622



総合資格学院



スクールサイト [www.shikaku.co.jp](http://www.shikaku.co.jp)  
コーポレートサイト [www.sogoshikaku.co.jp](http://www.sogoshikaku.co.jp)

総合資格 検索 Facebook 「総合資格 fb」で検索!

- 1級・2級 建築士
- 構造設計1級建築士 設備設計1級建築士
- 建築設備士
- 1級・2級 管工施工管理技士
- 1級・2級 建築施工管理技士
- 1級・2級 土木施工管理技士
- 宅地建物取引士
- インテリアコーディネーター
- 賃貸不動産経営管理士

## 公益社団法人静岡県建築士会

定価一部 260 円、送料一部 100 円  
会員の方には購読料として会費の中に含まれています。

建築静岡 Summer 2019

第 669 号 令和 元年 7 月 1 発行  
昭和 33 年 12 月 25 日 第 3 種郵便物認可

発行所 公益社団法人静岡県建築士会  
静岡市葵区御幸町 9 番地の 9  
TEL 054-254-9381  
印刷所 (株)橋本印刷所